学校番号	313

令和8年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「　歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本　」（実教出版）						
副教材等	「明解歴史総合図説シンフォニア」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を「なぜ」という疑問を持ちながら見る。
・地域の歴史や生活文化など身近な歴史に触れる。
・過去のわが国の歴史を踏まえながら、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通し，我が国の歴史についての理解，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について，『なぜ』という視点を持って学習に取り組もうとしている。 ○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通し，我が国の歴史についての理解や，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編 近代化と私たち	**第1章 近代化への胎動** 1江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2. 幕府の政治改革と欧米諸国の日本接近 3. アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化 **第2章 欧米の市民悪名と「西洋の衝撃」** 4. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5. フランス革命とウィーン体制 6. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7. オスマン帝国の衰退とロシア 8. アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9. 江戸幕府の滅亡	a: 18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴や，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，18 世紀のアジアの経済と社会を理解することができる。 b: 産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目し，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:18 世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察をし、問いに対する自分の考えを成文化したり、他者と共有しようとしたりする姿勢を見せている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
		第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 10. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11. 明治政府の諸改革 12. 日本のアジア外交と国境問題 13. 自由民権運動と大日本帝国憲法 **第4章 帝国主義の時代** 14. 帝国主義の時代へ 15. 挑戦をめぐる国際関係と日清戦争 16. 日清戦争後の東アジア 17. 日露戦争と東アジアの変動 18. 日本の産業革命	a: 国民国家の形成の背景や影響などに着目して，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，立憲制と国民国家の形成を理解することができる。 b: 帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: 近代国家の在り方や帝国主義政策が世界に与えた影響について多面的・多角的に考察をし、問いに対する自分の考えを成文化したり、他者と共有しようとしたりする姿勢を見せている。			

2学期	第2編　国際秩序の変化や大衆化と私たち	**1節　国際秩序の変化や大衆化への問い** **2節　第一次世界大戦と大衆社会** 1. 大衆社会の時代 2. 第一次世界大戦の展開 3. 国際協調体制の形成 4. ソヴィエト連邦の成立と社会主義 5. アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 6. アジアの経済成長と移動する人々 7. 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 8. 民主主義の拡大と社会変革の動き 9. マスメディアの発達と日常生活	a: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目し，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解することができる。 b: 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: 第一次世界大戦中の世界情勢の変化について多面的・多角的に考察をし、問いに対する自分の考えを成文化したり、他者と共有しようとしたりする姿勢を見せている。	・定期考査 ・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
		第５章　第一次世界大戦と大衆社会 19. 第一次世界大戦 20. ロシア革命とソ連の成立 21. 米騒動とデモクラシー 22. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23. アジアの民族運動 24. 第一次世界大戦後の欧米諸国 25. 広がる社会運動と普通選挙の実現 **第６章　経済危機と第二次世界多選** 26. 世界恐慌と各国の対応 27. ファシズムの時代 28. 満州事変と軍部の台頭 29. 日中戦争と戦時体制 30. 第二次世界大戦の勃発 31. 第二次世界大戦の終結 32. 国際連合の成立と冷戦 33. 日本占領と日本国憲法 34. 朝鮮戦争と日本	a: 経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際協調体制の動揺を理解することができる。 b: 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: 第二次世界大戦中の世界情勢の変化について多面的・多角的に考察をし、問いに対する自分の考えを成文化したり、他者と共有しようとしたりする姿勢を見せている。			

3学期	第3編 グローバル化と私たち	**第 7 章　冷戦と脱植民地化** 35. 植民地の独立 36. 米ソ両陣営の動 37. 日本の国際社会復帰と高度経済成長 **第 8 章　多様化する社会** 38. 石油危機と世界経済 39. 緊張緩和から冷戦の終息へ 40. 日本の経済大国化 **第 9 章　グローバル化と現代世界** 41. 地域紛争と対立 42. 国際秩序の変容	a: 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際政治の変容を理解する。 b: 冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解することができる。 c:近現代日本と世界との関わりについて多面的・多角的に考察をし、問いに対する自分の考えを成文化したり、他者と共有しようとしたりする姿勢を見せている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度